

薬剤学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Okami K, Fumoto S, Yamashita M, Nakashima M, Miyamoto H, Kawakami S, Nishida K: One-Step Formation Method of Plasmid DNA-Loaded, Extracellular Vesicles-Mimicking Lipid Nanoparticles Based on Nucleic Acids Dilution-Induced Assembly. *Cells* 13(14): 1183, 2024. doi: 10.3390/cells13141183.
2. Moriishi M, Takazono T, Hashizume J, Aibara N, Jimbayashi Kutsuna Y, Okamoto M, Sawai T, Hoshino T, Mori Y, Fukuda Y, Awaya Y, Yamanashi H, Furusato Y, Yanagihara T, Miyamoto H, Sato K, Kodama Y, Mizukami S, Sakamoto N, Yamamoto K, Sakamoto K, Yanagihara K, Izumikawa K, Maeda T, Nakashima M, Fukushima K, Mukae H, Ohyama K: Immune complexome analysis reveals an autoimmune signature predictive of COVID-19 severity. *Clinical Biochemistry* : 110865, 2024. doi: 10.1016/j.clinbiochem.2024.110865.
3. Ko T, Fumoto S, Kurosaki T, Nakashima M, Miyamoto H, Sasaki H, Nishida K: Interaction of γ -Polyglutamic Acid/Polyethyleneimine/Plasmid DNA Ternary Complexes with Serum Components Plays a Crucial Role in Transfection in Mice. *Pharmaceutics* 16(4): 522, 2024. doi: 10.3390/pharmaceutics16040522.
4. Sakamoto T, Miyamoto H, Hashizume J, Akamatsu H, Akagi T, Kodama Y, Hamano H, Zamami Y, Ohyama K: Differences in the Adverse Event Profiles of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors used in Patients with Diabetes Mellitus and Heart Failure: An Analysis Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database. *Clinical Drug Investigation* 44(10): 761-771, 2024. doi: 10.1007/s40261-024-01394-8.
5. Akagi T, Hamano H, Miyamoto H, Takeda T, Zamami Y, Ohyama K: Evaluating the impact of loperamide on irinotecan-induced adverse events: a disproportionality analysis of data from the World Health Organization pharmacovigilance database (VigiBase). *European Journal of Clinical Pharmacology* 81(1): 129-137, 2024. doi: 10.1007/s00228-024-03767-6.

A-b

1. Miyamoto H: Optimization of Drug Administration in Special Populations Focusing on Drug Distribution. *YAKUGAKU ZASSHI* 144(11): 991-996, 2024. doi: 10.1248/yakushi.24-00149.

B 邦文

B-c

1. 中嶋幹郎, 宮元敬天, 橋詰淳哉, 黒崎友亮: モデル・コア・カリキュラムで学ぶ薬学(新スタンダード薬学シリーズ 第1巻) (新スタンダード薬学シリーズ 1巻). 東京化学同人: 2024.

B-c-1

1. 赤城友章, 濱野裕章, 宮元敬天, 武田達明, 大山 要: Vigibaseを用いたイリノテカン誘発性有害事象に対するロペラミドの影響評価. *The Journal of Toxicological Sciences* 49(Suppl.): S84-S85, 2024.
2. 川上 茂, 異島 優, 有馬英俊, 山吉麻子, 麓 伸太郎: フォーカスグループのこれまでの軌跡と今後の展望: 超分子薬理学FG. *薬剤学* 84(2): 66-70, 2024.
3. 中嶋幹郎, 宮元敬天, 相原希美, 手嶋無限, 福地弘充, 中村 優, 田代浩幸, 西田孝洋: 長崎大学薬学部5年生に対する在宅医療に関する意識調査. 日本在宅薬学会学術大会プログラム・講演抄録集(Web) 17th: 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	1	9

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
西田孝洋・教授	Pharmaceutics誌Editor	MDPI
西田孝洋・教授	長崎県薬事審議会	長崎県
西田孝洋・教授	第17回日本在宅薬学会学術大会組織委員	日本在宅薬学会
西田孝洋・教授	副支部長	日本薬学会九州山口支部

西田孝洋・教授	代議員	日本薬剤学会
西田孝洋・教授	評議員	日本DDS学会
西田孝洋・教授	代議員	日本薬学会
西田孝洋・教授	理事	長崎県薬剤師会
西田孝洋・教授	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
西田孝洋・教授	薬剤師研修協議会委員	長崎県薬剤師会
麓 伸太郎・准教授	超分子薬理学フォーカスグループ 会計幹事	日本薬剤学会
麓 伸太郎・准教授	核酸・遺伝子医薬フォーカスグループ 幹事	日本薬剤学会
麓 伸太郎・准教授	評議員・代議員	日本薬剤学会
麓 伸太郎・准教授	役員	遺伝子・デリバリー研究会
宮元敬天・助教	英語セミナー委員会委員	公益財団法人 日本薬剤学会
宮元敬天・助教	薬物乱用防止教育対策特別委員会 委員	長崎県薬剤師会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
宮元敬天・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)「精神疾患との共生型社会実現に向けた「病気の見える化」への挑戦」
西田孝洋・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「臨床実装を目指した高機能な癌局所治療用二層型シート製剤の開発」
麓 伸太郎・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))「脂質・炭酸カルシウムナノ粒子の吸入用粉末製剤化および経肺投与型ワクチンの開発」
麓 伸太郎・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「癌ゲノム編集治療に向けた人工エクソソームへのタンパク質搭載技術の開発」

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
西田孝洋・教授	研磨剤を含有する核酸導入剤	2011年9月6日	2016年3月25日	特願2011-194260
西田孝洋・教授	生体由来材料の透明化試薬	2018年2月22日	2022年3月3日	特許7033795
麓 伸太郎・准教授	生体由来材料の透明化用試薬	2018年2月22日	2022年3月3日	特許7033795
麓 伸太郎・准教授	研磨剤を含有する核酸導入剤	2011年9月6日	2016年3月25日	特許第5904483号
宮元敬天・助教	線維化誘導遺伝子の発現抑制剤およびその用途	2019年10月31日	出願中	特願2018-205632

その他

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
麓 伸太郎・准教授	下村脩博士記念薬学部研究教育賞	長崎大学薬学部	脂質を基盤とした薬物・タンパク質・遺伝子キャリアの開発および評価
麓 伸太郎・准教授	インパクト論文賞	長崎大学	Diffusion coefficient of cationic liposomes during lipoplex formation determines transfection efficiency in HepG2 cells
宮元敬天・助教	第17回日本在宅薬学会学術大会優秀演題賞	日本在宅薬学会	有害事象データベース解析に基づく低血糖発現リスクの評価